

伊達市平地区仮置場の絵画掲示セレモニー

日時：平成26年2月10日 15:30 - 16:00

概要：伊達市では、生活圏近辺に設置された仮置場の景観について違和感があるとの声を考慮して、「市民協働」事業モデルとして絵画掲示を決め、福島大学と福島県立保原高校美術部に希望をテーマとした制作を依頼していました。今回、保原高校の海をモチーフとした絵画が、吾妻山を望んだ少女の絵画（福島大学制作）の隣に掲示されました。

絵画掲示セレモニーでは、伊達市教育委員会教育長の湯田健一氏の挨拶に続いて、福島環境再生本部長の高橋康夫が祝辞を述べ、浮島智子環境大臣政務官からの言葉を伝えました。次いで、絵画が掲示され、美術部長の佐藤紀子さんからコンセプトの説明がありました。さらに、伊達市の環境回復等への支援者への感謝のメッセージを伝えるため同美術部が行っている「がれきに花を咲かせようプロジェクト」の一環として、伊達市と再生事務所に対してがれきアートが贈呈されました。最後に絵画の前で関係者全員の記念撮影をして、作成した高校生達と地域の方々が交流しました。



絵画アートと制作者、地域住民、伊達市など関係者の集合写真



がれきに花を咲かせようプロジェクト



再生事務所に贈られたがれきアート